

令和6年度 障害者総合福祉推進事業
「自治体における就労継続支援事業所の要件確認、就労継続支援の報酬体系及び一般就労中の障害者の休職
期間中における就労系障害福祉サービス等の実態に関する調査研究」に係る
就労継続支援B型事業所に対する実態調査

以下のアンケートにご協力ください。
ブラウザの戻るボタンは使用しないでください。
一時保存する場合は一時保存ボタンを押してください。
一時保存ボタンを押した時の入力内容が保存されます。
再開する場合は、メール記載の本アンケートURLからアクセスしてください。

一時保存

※ は、必須項目です。

本調査は、全国の就労継続支援B型事業所における運営等の状況を把握することを
目的として実施いたします。

回答の集計結果は統計的に処理し、登録いただいた情報は調査分析以外の目的
で使用されることはありませんので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

＜調査時点について＞

特に指定がない場合は、【令和6年8月1日現在】の状況をお聞かせください。

＜本調査に関するお問い合わせ先＞

株式会社インサイト（担当者：大塚・関原）

〒550-0003 大阪市西区京町堀1-8-31

TEL：06-6449-5115（事務局 平日9:30-17:30）

E-mail： insight@insweb.jp

※メールが最も確実に連絡が取れます。出来る限りメールでのお問合せをお願い
致します。

☐ 運営法人・事業所の基礎情報について

Q1. 事業所番号※

Q2. 事業所名※

Q3. 運営法人の法人格※

- ☐ 社会福祉法人
- ☐ NPO法人
- ☐ 一般社団法人
- ☐ 営利法人（株式会社・有限会社・合同会社等）

☐ その他

Q4. 法人名※

Q5. 貴法人で運営する障害福祉サービス事業所数（法人全体・全サービスの合计数）※

事業所

うち就労継続支援B型事業所数

事業所

Q6. 回答いただく方の役職等※

- ☐ 経営層・経営部門
- ☐ 管理者
- ☐ サービス管理責任者
- ☐ 現場スタッフ
- ☐ 賃金向上達成指導員

その他

Q7. 指定権者（指定を受けた自治体）名※

Q8. 事業所の設立年度（西暦）

年度

Q9. 貴事業所の設立目的または運営する上での考え方に近いものを2つまで選択してください。

- ☐ 通常の事業所に雇用されることが困難な人への就労機会等の提供
- ☐ 利用者の経済的自立を支えるため、工賃の向上を目指す
- ☐ 一般就労等へのステップアップを目指して職業訓練・生活訓練を行う
- ☐ 利用者にとって居場所と感じられる場となる
- ☐ 利用者の地域での生活を総合的に支援する
- ☐ 一般就労中の一時利用（復職支援等）の機会の提供

その他

☐

Q10 事業所指定の形態

☐

単独型

☐

多機能型

●「多機能型」を選んだ方にお聞きます。

Q11 具体的に、どのサービスとの多機能型事業所ですか。

☐

就労移行支援

☐

就労定着支援

☐

就労継続支援A型

☐

自立訓練

☐

生活介護

その他

☐

多機能型の指定を受けた年度（西暦）

年度

● 再び、全員にお聞きします。

☐ 事業所の体制等について

012

支援員数（職業指導員、生活支援員、就労支援員、サービス管理責任者等）

常勤換算人数

生産活動専門職員数（調理員、農業指導員等）

常勤換算人数

目標工賃達成指導員数

常勤換算人数

目標工賃達成指導員の主な業務内容

- ☐ 工賃向上計画の作成や計画達成に向けた取り組み
- ☐ 利用者の労働時間を増やすための取り組みの立案・改善提案
- ☐ 利用者のキャリアアップのための仕組みの立案・改善提案
- ☐ 生産活動収入を増やすための販路拡大や商品開発
- ☐ 利用者への職業指導
- ☐ 利用者の心身のケア、面談等

その他

☐

013 令和3～6年度の人員配置基準

	6：1（R6のみ）	7.5：1	10：1
令和3年度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
令和4年度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
令和5年度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
令和6年度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

014 令和6年度の基本報酬区分

- ☐（Ⅰ）：平均工賃型
- ☐（Ⅱ）：平均工賃型
- ☐（Ⅲ）：平均工賃型
- ☐（Ⅳ）：一律評価型
- ☐（Ⅴ）：一律評価型
- ☐（Ⅵ）：一律評価型

● 「（Ⅳ）（Ⅴ）（Ⅵ）：一律評価型」を選んだ事業所にお聞きます。

015 貴事業所が基本報酬区分「（Ⅲ）または（Ⅳ）：一律評価型」を選択することとした理由をお聞かせください。

Q16

生産活動（主な工賃の収入源）の他に、利用者のために独自に取り組んでいる活動等があれば、具体的に記載してください

Q17

地域協働加算を取得していますか。取得している場合は、地域住民、地元企業、自治体その他の関係者と協働した取組みの内容をお答えください。

- ☐ 取得している
- ☐ 取得していない

（取得している場合）実施している取組みの内容について、具体的にお聞かせください。

Q18

ピアサポート実施加算を取得していますか。取得している場合は、ピアサポートによる主な支援内容をお答えください。

- ☐ 取得している
- ☐ 取得していない

（取得している場合）実施している支援内容について、具体的にお聞かせください。

● 再び、全員にお聞きします。

☐ 事業所の職員体制・定員・利用者等について
※（再掲）特に指定がない場合は、＜令和6年8月1日現在＞の状況をお聞かせください。

019 定員数

人

利用（登録）者数 ※ 障害支援区分別に回答してください。

	利用（登録）者数	
区分1	<div></div>	人
区分2	<div></div>	人
区分3	<div></div>	人
区分4	<div></div>	人
区分5	<div></div>	人
区分6	<div></div>	人
区分認定なし	<div></div>	人

合計	<input type="text"/>
----	----------------------

利用者の主な障害種別と人数、及びその利用者のうち重度障害者の人数（入力にあたっては下記※を参照のこと）

	利用者数	うち重度障害者数
身体障害	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
知的障害	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
精神障害	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
発達障害	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
高次脳機能障害	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
難病	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
その他	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人

→その他の場合（具体的にお聞かせください）

※ 利用者数については、便宜的に主たる障害を1つ定め、前問の合計人数と一致するように入力してください。

※ この設問で言う「重度障害者」とは以下のように定義します。

- ・ 障害支援区分4以上 or 職業的重度知的障害者判定を受けている（ハローワークまたは地域障害者職業センターの判定書がある） or 身体障害者手帳2級以上 or 精神障害者手帳1級 or 療育（愛の）手帳の重度（A又は2度）以上の方

1日平均利用者数

<input type="text"/>	人（小数点第二位を四捨五入）
----------------------	----------------

平均利用年数

年（小数点第二位を四捨五入）

貴事業所で行っている生産活動の種類のうち、収入（売上高）上位3つを下記一覧から選んで、番号をご記入下さい。

020 また、その3つの生産活動について、その生産活動収入が、事業所全体収入の何割程度を占めるかお答えください。

（いずれも、おおまかに小数点以下を四捨五入した割合で結構です）

	生産活動の種類	収入割合（割）
第1位	<input type="text"/>	<input type="text"/>
第2位	<input type="text"/>	<input type="text"/>
第3位	<input type="text"/>	<input type="text"/>

【生産活動一覧】

- 1.パン系
- 2.洋菓子系（焼き菓子、チョコ等）
- 3.和菓子系（大福、羊羹、干し芋等）
- 4.加工食品（豆腐・味噌・ジャム・製麺、こんにゃく、焙煎珈琲等）
- 5.弁当・惣菜
- 6.飲食店
- 7.喫茶店
- 8.調理補助
- 9.農業（野菜・果物）
- 10.農業（花卉・植物）
- 11.農作業手伝い
- 12.農産品加工
- 13.林業
- 14.水産業
- 15.家畜飼育
- 16.雑貨類（陶芸、和紙、木工、織物、藍染、革製品、ビーズ、縫製等）
- 17.印刷加工（紙以外：Tシャツ、グッズ等）

- 18.組立
- 19.部品加工
- 20.ピッキング
- 21.箱折
- 22.袋詰め
- 23.ラベル・シール貼り
- 24.検品
- 25.色塗り
- 26.清掃（公園、公共施設、企業、集合住宅等）
- 27.植栽管理・環境整備
- 28.PC関連（入力・Web管理等）
- 29.テープ起こし
- 30.印刷（紙：資料、名刺等）
- 31.印刷物の封入・封緘
- 32.メール便配達
- 33.ポスティング
- 34.クリーニング・洗濯
- 35.リサイクル
- 36.マッサージ・あんま
- 37.その他

Q21 貴事業所では、施設外就労を行っていますか。

- ☐ 行っている
- ☐ 行っていない

（「行っている」場合）施設外就労で行っている生産活動の種類のうち、収入（売上高）上位3つまでを上記一覧から選んで、番号をご記入下さい。

Q22 また、施設外就労に出る1ユニット当たりの平均的な利用者数、及び同行する支援者数をお答えください。

	生産活動の種類	利用者数（人）	支援者数（人）
第1位	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
第2位	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
第3位	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

023

施設外就労を実施する意義・目的について、貴事業所の考えに近いものを2つまで選択してください。

- ☐ 利用者が一般就労に近い環境での就業経験を積むことができる
- ☐ 利用者の作業実績が認められて就職・雇用へつながる可能性がある
- ☐ 事業所内では提供できない多様な仕事の提供（支援）が可能になる
- ☐ 職員の職業指導のノウハウが蓄積される
- ☐ 定員とは別に、定員と同人数までサービス提供ができる

その他



024

直近3年度の利用終了者の移行先と人数をお答えください。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般就労	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
就労移行支援	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
就労継続支援A型	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
就労継続支援B型	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
生活介護	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
入院	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
在宅（※在宅就労ではない）	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
不明	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人

その他	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
-----	------------------------	------------------------	------------------------

→その他の場合（具体的にお聞かせください）

● 再び、全員にお聞きます。

令和6年度報酬改定により、前年度の平均工賃月額の算定方法が見直されましたが、令和5年度の平均工賃について、新旧それぞれで計算した平均工賃月額をお答えください。

【旧算定方法による計算】

	【旧算定方法による計算】
前年度に支払った工賃支払総額（円）	<input type="text"/>
前年度における各月の工賃支払対象者の総数（人）	<input type="text"/>
平均工賃額（旧算定方法）（円）	<input type="text"/>

【新算定方法による計算】

	【新算定方法による計算】
前年度に支払った工賃支払総額（円）	<input type="text"/>
前年度の延べ利用者数（人）	<input type="text"/>
前年度の年間開所日数（日）	<input type="text"/>
平均工賃額（新算定方法：行政への提出額）（円）	<input type="text"/>

※ 参考

【旧】算定方法

前年度に支払った工賃支払総額÷前年度における各月の工賃支払対象者の総数

【新】算定方法

前年度に支払った総額÷（前年度の延べ利用者数÷前年度の年間開所日数）
÷12か月

Q26 直近3年間の平均工賃月額（旧算定方法）について、お答えください。

	4.5万円以上	3.5万円以上4.5万円未満	3万円以上3.5万円未満	2.5万円以上3万円未満	2万円以上2.5万円未満	1.5万円以上2万円未満	1万円以上1.5万円未満	1万円未満
令和3年度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
令和4年度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
令和5年度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q27 利用者への月あたり工賃単価の設定方法について、お答えください。

- ☐ <収益変動型>：月次決算等を実施し、収益に連動して月単位で工賃単価（時給等）を変更する
- ☐ <固定テーブル型>：前年度の収益に応じ、定期的に工賃単価（時給等）を設定する
- ☐ 事業所開設以降、特に工賃単価（時給等）の見直しを実施・検討したことはない
- ☐ その他

☐ 事業所の現状・運営について

Q28 貴事業所において、会計・経理はどのように管理していますか？

- ☐ 生産活動の種類ごとに会計（通帳）を分けて管理している
- ☐ 就労支援事業会計と福祉事業会計を分けて管理している
- ☐ 事業所ごとに会計（通帳）を分けて管理している
- ☐ 法人全体で1つの会計（通帳）で管理している
- ☐ 把握していない

Q29 貴事業所の経営状況の把握・分析はどのように行っていますか。

- ☐ 事業所で経営状況を把握していない
- ☐ 事業所で経営状況を把握しているが、分析や方針決定は法人内経営部門が行っている
- ☐ 事業所で経営状況を把握し、法人内経営部門と共有して分析や方針決定を行っている
- ☐ 事業所で経営状況を把握し、主に事業所内で分析や対策の実施を行っている

その他



Q30 令和5年度と比較して、令和6年度の貴事業所の各会計の収支状況はどのうなると見込まれますか。

	良くなりそう/ 改善しそう	少し良くなりそう/ 少し改善しそう	変わらない	少し悪くなりそう	悪くなりそう	わからない

福祉事業 会計	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
就労支援 事業会計	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

そのように見込まれる理由を教えてください。

Q31 貴事業所において、賃金を支払うための損益分岐点売上高は把握されていますか？

（※損益分岐点売上高＝賃金と経費を支払うために必要な売上高）

- ☐ 収益性の異なる部門・作業別に把握できている
- ☐ 事業所全体として概要を把握できている
- ☐ 明確には分からない
- ☐ 今まで算出したことはない

Q32 貴事業所の経営状況の改善（向上）に係る方針決定に関わっている職員、また経営状態や財務書類等について、どの職員まで共有しているか、お答えください。

	方針決定に関わる職員	経営状態等の共有
経営層・経営部門	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
管理者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
サービス管理責任者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
現場スタッフ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

目標工賃達成指導員	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
-----------	-----------------------	-----------------------

Q33 Q32の各職員について、経営状況の改善（向上）に対する関心・注力の度合いをお答えください。

	関心がある・注力している	まあ関心がある・注力している	あまり関心がない・注力していない	関心がない・注力していない
経営層・経営部門	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
管理者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
サービス管理責任者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
現場スタッフ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標工賃達成指導員	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q34 貴事業所の経営・運営に関し、事業所外からアドバイスや指導等を受けていますか。

- ☐ 法人内の経営部門から指導等を受けている
- ☐ 親会社・関連法人等から指導等を受けている
- ☐ 会計士・税理士・中小企業診断士等、有資格の専門家から指導等を受けている
- ☐ フランチャイズ、経営コンサルティング会社等の外部法人から指導等を受けている
- ☐ 特に指導等は受けていない

その他

☐

「工賃変動積立金」の積立額

- 035 (積立金が無い場合は0、わからない場合は下段にチェックを入れてください)

円（令和5年度決算時点）

☐ →わからない

「設備等整備積立金」の積立額

- 036 (積立金が無い場合は0、わからない場合は下段にチェックを入れてください)

円（令和5年度決算時点）

☐ →わからない

- 037 事業所の運営方針として、【生産活動】に関する次の各項目について、どの程度重視（注力）していますか。

【生産活動】について

	重視していない	それほど重視していない	普通	やや重視している	特に重視している
1.収支改善	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2.売上拡大	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3.新規事業	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4.目標設定（BEP）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5.事業計画立案・実行	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6.支援策活用	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

1.～6.を総合して【生産活動】に関する注力度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
-------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

【生産活動】に係る項目の内容例

1. 収支改善：価格変更、原価低減、絞込・撤退、作業別収支、支援者人時売上上の作成
2. 売上拡大：商品開発、販路拡大、マーケティング調査→戦略（STP）、戦術（4P）立案
3. 新規事業：新規事業開発、利用者の好き・得意なもの×市場ニーズ→収支予測
4. 目標設定（BEP）：作業別収支の把握、損益分岐点売上高（BEP）確認→戦略当てはめ
5. 事業計画立案・実行：行動計画への落とし込み、計画の実行
6. 支援策活用：優先調達・共同受発注、設備投資補助金等、ノウハウの活用（専門家・研修）

038 事業所の運営方針として、【支援】に関する次の各項目について、どの程度重視（注力）していますか。

【支援】について

	重視していない	それほど重視していない	普通	やや重視している	特に重視している
7.生産性向上	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8.利用者能力開発（個別支援計画・訓練）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9.環境整備（治具）、工程・レイアウト改善	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10.支援の効率化（マニュアル作成）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11.障害特性理解	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12.利用者のモチベーション向上（含出席率）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

7.～12.を総合して【支援】に関する注力度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

【支援】に係る項目の内容例

- 7.生産性向上：生産性の向上、作業アセスメント表作成→アセスメント→目標設定
 8.利用者能力開発（個別支援計画・訓練）：個別支援計画への落とし込み、訓練実施
 9.環境整備（治具）、工程・レイアウト改善：治具開発、工程・レイアウトの改善
 10.支援の効率化：マニュアル作成、業務可視化
 11.障害特性理解：障害特性の理解、利用者の見立て
 12.利用者のモチベーション向上（含出席率）：利用者のモチベーションや出席率の向上

39 事業所の運営方針として、【組織】に関する次の各項目について、どの程度重視（注力）していますか。

【組織】について

	重視していない	それほど重視していない	普通	やや重視している	特に重視している
13.理念・方針の浸透（職員間の考えの調和）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14.目標達成の工夫・調整	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15.会議設計・効率化	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16.事務の効率化	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17.職員育成・採用	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18.職員のモチベーション向上	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13.～18.を総合して【組織】に関する注力度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【組織】に係る項目の内容例

- 13.理念・方針の浸透（職員間の考えの調和）：理念・方針の確認、職員間での共有→具体的な行動レベルのすり合わせ
- 14.目標達成の工夫・調整：5.事業計画実行に係る工夫、PDCAのC：Check（振り返り）、A：Action（修正・実行）
- 15.会議設計・効率化：会議体の設計（参加者・頻度・内容）、会議の効率化（フォーマット・議事録作成・共有・通達等）
- 16.事務の効率化：関連事務の効率化、支援・生産活動・営業活動への時間確保
- 17.職員育成・採用：職員育成（OJT・OffJT、キャリアパス設計、職能一覧等）、職員採用（募集・媒体・訴求内容・予算等）
- 18.職員のモチベーション向上：職員のモチベーション向上（EPMモデル）、処遇・待遇（給与・賞与・福利厚生・昇給昇格・人材育成）

Q40 Q37～39の18項目を総合的にとらえて事業所運営に関し、どの程度重視（注力）していますか。

	重視していない	それほど重視していない	普通	やや重視している	特に重視している
1.～18.を総合した注力度	○	○	○	○	○

Q41 利用者と仕事のマッチング、および利用者が従事できるように工夫していることがあれば、その内容についてお答えください。

Q42 R6報酬改定を経て、就労継続支援B型事業所を取り巻く状況・環境について感じていることをお答えください。

Q43 就労継続支援B型事業所を経営していく上での課題をお答えください。

令和4年の障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の改正に伴い、令和6年4月1日より、一般就労中の障害者でも、就労系障害福祉サービスを一時的に利用できることが法令上位置付けられました。
また、その取り扱いに関する留意事項については、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課長通知「就労移行支援事業、就労継続支援事業（A型、B型）における留意事項について」（令和6年3月29日最終改正：障障発0329第7号。以下、「R6留意事項通知」といいます。）により示されています。

Q44 貴事業所は、復職支援を実施していますか。

- ☐ 実施している
- ☐ 実施していない

復職支援を「実施していない」事業所へお聞きします。

Q45 今後、貴事業所では復職支援を実施する予定や意向はありますか。

- ☐ 実施する予定がある
- ☐ 通常は実施していないが、個別のニーズがあれば事情に応じて対応する

- ☐ 実施に向け検討している
- ☐ 実施する予定はない
- ☐ 復職支援の制度内容について把握していない

Q46 貴事業所で復職支援の実施を検討する場合に、難しさを感じる点があれば、お答えください。

復職支援を「実施している」事業所へお聞きします。

Q47 復職支援に携わるスタッフについて、以下の資格を所持しているスタッフの人数をお答えください。

	常勤	非常勤	その他
医師	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
看護師	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
精神保健福祉士	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
理学療法士	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
作業療法士	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
言語聴覚士	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人

臨床心理士	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
公認心理士	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
産業カウンセラー	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
その他心理職	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
その他	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人

→その他の場合（具体的にお聞かせください）

Q48

直近3年度（令和3年4月～令和6年3月）の貴事業所における復職支援の利用者数及び平均利用期間をお答えください。また、このうち令和6年4月末時点での復職者数、復職者のうち6カ月継続者数、及び本調査回答時点までに1回でも再休職した人の数をお答えください。

※重複障害の方については、便宜的に主たる障害を1つに定めて人数を計上してください。

	利用者数	利用終了者のうち 復職者数	復職者のうち6カ月 継続者数	復職者のうち再休 職者数
うつ病	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
躁鬱病・双極 性障害	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
適応障害	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人

神経症・不安障害	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
発達障害	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
統合失調症	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
上記以外の精神障害	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
高次脳機能障害	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
難病	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
身体障害	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
知的障害	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
その他	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人

→その他の場合（具体的にお聞かせください）

Q19の利用者について、復職支援の利用に至った経緯及びその人数をお
049 答えください。また、上記期間（令和3年4月～令和6年3月）に、利用
 相談はあったが利用に至らなかったケースの数をお答えください。

	利用者数	相談はあったが利用に至らなかった数
利用者本人または家族から直接相談	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
相談支援事業所からの紹介	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
主治医からの紹介	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
企業からの相談	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
不明	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
その他	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人

→その他の場合（具体的にお聞かせください）

Q50 復職支援の実施頻度（利用者1人に対する1週あたりの回数）

回/週

復職支援の実施時間（利用者1人に対する1日あたりの平均時間）

時間/日

復職支援プログラムの平均利用期間（利用者1人当たり：小数点以下第一位まで）

ヶ月

R6留意事項通知1（1）②イcにより、復職支援の支給決定利用に必要な3つの要件が示されていますが、令和5年度まで貴事業所ではこれら

の事項について、どのような手段で確認していましたか。

- ☐ 本人（家族、相談支援事業所含む）から口頭、電話等で確認していた
- ☐ 主治医、企業から口頭、電話等で確認していた
- ☐ 支給決定自治体に電話等で確認していた
- ☐ 特に確認は行っていなかった

その他

☐

Q52

復職支援を実施するにあたり、主治医との連携状況についてお答えください。

- ☐ 利用者の病状や状態に変化があったときに、適宜助言を受けている
- ☐ 定期的に主治医に利用者の状況を連絡し、助言を受けている
- ☐ 主に利用開始時の意見書のみのやり取りとなっている
- ☐ その他

Q53

復職支援の質を高めるための工夫としてどのようなことを行っていますか。

- ☐ 復職支援プログラムの内容について、主治医へ相談や助言を受けている
- ☐ 通院同行するなどして、対面で主治医と情報共有を行う機会を設けている
- ☐ 地域の医療機関や保健所等の公的機関と連携して、利用者向けの講座や訓練を実施している
- ☐ その他

Q54

復職支援に関し、医療機関と連携を図る上で留意していることや、課題だと感じている点があれば、お答えください。

Q55

復職支援を実施するにあたり、雇用先企業との連携状況についてお答えください。

- ☐ 利用開始前に、雇用先企業担当者から利用者の状態像や復職支援に係る企業側のニーズ等を聞き取っている
- ☐ 定期的に雇用先企業に対し復職支援の進捗状況等を報告している
- ☐ 復職支援プログラムの内容について、雇用先企業への情報提供や打合せを行っている
- ☐ 雇用先企業へ訪問するなどして、対面で企業担当者を情報共有を行う機会を設けている
- ☐ 主に利用開始時の意見書のみのやり取りとなっている
- ☐ 復職後の定着支援において、利用者の状況等について企業側へ報告している
- ☐ その他

Q56

復職支援に関し、雇用先企業と連携を図る上で留意していることや、課題だと感じている点があれば、お答えください。

その他、貴事業所が復職支援を実施していく上で感じている課題等があれば、お答えください。

貴事業所で実施している復職支援プログラムの内容についてお聞きます。
実施している主なプログラムを、以下の実施形態（例）に近いものから最大3つ取り上げ、回答してください。

<プログラムの実施形態（例）>

- ・ 認知行動療法・・・認知の偏りを修正し、問題解決を手助けする精神療法
- ・ 心理教育・・・疾病理解、症状の自己理解（セルフモニタリング）、セルフコントロール等の習得や活用支援を主目的としたもの
- ・ グループワーク・・・集団で様々なテーマについて話し合ったり、職場を想定し、利用者間で役割分担を決めて何らかの共同作業を行ったりする
- ・ コミュニケーショントレーニング・・・対象者が問題と感じることをテーマに、問題解決に向けて、SST（ソーシャルスキルズトレーニング）や、アサーショントレーニング等のプログラム（講義、ロールプレイ、意見交換等）を行う
- ・ 作業訓練・・・休職前の職場で行っていた業務や、復職後に想定される業務を行ったり、利用者が希望する作業を職場と同様のタイムスケジュールで行ったりする
- ・ 代償手段（代替手段）の獲得…身体障害、高次脳機能、難病等、障害の影響に応じた新たなスキルに関する知識や技術習得（例：記憶障害における手帳やICレコーダーの活用、遂行機能障害における作業手順票（事前に手順は確認する）やアラームの活用等）のためのプログラム
- ・ 運動・リラクゼーション・・・心身のリラックスを促すことや、体力増進、ストレス解消、周囲とのコミュニケーション等を意図したプログラム
- ・ マインドフルネス・・・参加者のストレス耐性の向上や自分の思考や感情への客観的視点を育てること等を目的とした、マインドフルネスの概念やスキルの学習・実践
- ・ 自己管理支援・・・安定して働くための生活習慣の構築や体調管理の準備等を支援する
- ・ 働くこと・キャリア形成・・・これまでの働き方の振り返りと今後の働き方について考える時間を持ったり、働くことについて考え、モチベーションの向上を図る復職セミナーやミーティングなどの実施
- ・ その他のプログラム・・・個人面談、通勤訓練、動機付け等、上記のいずれにも該当しないプログラム

Q58 <復職支援プログラム①>

貴事業所におけるプログラム名①

実施形態①

選択してください



→その他の場合（具体的にお聞かせください）

Q59 <復職支援プログラム②>

貴事業所におけるプログラム名②

実施形態②

選択してください



→その他の場合（具体的にお聞かせください）

Q60 <復職支援プログラム③>

貴事業所におけるプログラム名③

実施形態③

選択してください

▼

→その他の場合（具体的にお聞かせください）

Q61 貴事業所の復職支援プログラムを受けた後、復職した方へのフォローアップを実施していますか。

- ☐ 実施している
- ☐ 実施していない

復職した方へのフォローアップを「実施している」事業所にお伺いします。

Q62 復職した方へのフォローアップの実施内容、及びおおむねの実施期間をお答えください。

	期間設定 なし	1年以 上	6ヶ月以上1年 未満	3ヶ月以上6ヶ月 未満	3ヶ月未 満
個別面談	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
職場訪問	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電話、メール等による 状況確認	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

電話、メール等による 助言	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
その他	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

→その他の場合（具体的にお聞かせください）

Q63 復職した方へのフォローアップの実施方法、及び頻度について、お答えください。

	希望に応じて実施	3ヶ月に1回程度	月に1回程度	週に1回程度	週に2～3回程度
原則全員に実施	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
必要に応じて事業所から提案する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
本人からの希望に基づき実施する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
その他	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

→その他の場合（具体的にお聞かせください）

Q64 復職した方へのフォローアップに関し、課題だと感じている点があれば、お答えください。

確認

一時保存